

5. 会場毎報告書

第1回瑞浪市議会報告会 班毎報告書

期 日 ・ 会 場	令和元年10月4日（金） 19時から 総合文化センター
参 加 者 数	一般 58人 他市議会 人 その他 3人（報道関係3人） 合計 61人
アンケート回収数	55枚
運 営 上 の 課 題	<p>A班</p> <ul style="list-style-type: none">・議会報告に対して興味を持っていない参加者の姿が見受けられた。前回のようターゲットや意見交換のテーマを絞って行うべき。・質疑応答に関して特定の人が話すだけになってしまうため、議会としての意見をしっかりと伝えられるように各議員の質の向上が必要。・グループに対して参加者の数が多いために大半の参加者が意見を言えず傍観者になっている。可児市議会が行う議報告会のような少人数制の意見交換が必要になってくる。・テーマに対して参加する対象の年齢が高すぎる、参加者数に拘らず過去に開催した様なこちらから出向く方式でこれからのテーマに沿った世代の意見を拾いに行くべき。・参加者がまだ残っているのに追い返すような会場の撤去はあまりイメージがよくないのではないか。 <p>B班</p> <ul style="list-style-type: none">・人数が多いので、準備の集合時間をもう少し遅らせてもよかった。・大人数ではなかなか積極的に意見を言う方が少なかったと思う。・地域を絞って、地域の課題について意見交換するか、対象者を限定

して前もって問題を提出してもらおうというような形にしていても良いのではないか。

- 今回のような形でも、グループ分けを区の関係者、PTA、で分ければ意見が出やすかったかもしれない。
- 議会報告が単調で聞いている人たちにあまり伝わらなかったように思う。

C班

- 質問に班長が全て答えていた。
(各議員にも振って回答させるべきだ)
- 挙手もなくだれが返答するのか明確でなく、返答できる者が回答した形になった。(答弁できる議員の積極性が必要だが、意見記録者は記録することで手一杯)
- テーマ(学校における諸問題)に沿った課題には区長会役員等として参加された方からは出にくかった。
(テーマ以外その他からの提案で駅前開発、企業誘致の話題が出た)
- PTAからの参加者3名(日吉、釜戸、稲津)からは少子化や学校統合による奉仕作業等における課題が出たが、地域での対応等地域間格差と認識の違いが出た。
- テーマの事例等幅広く提案すると一般参加者からも色々な質問・話題が出易かったと思われる。
- 一般市民に関心のあると思われるテーマ設定が必要だったかもしれない。(市民全般の共通な話題と思われるテーマ)
- 意見交換の時間が短かった感じを受けた。
(意見交換の時間がもう少し取れると良かった)

第1回瑞浪市議会報告会 進行記録票

次第	開始時刻	
開会・議員紹介	19時00分 ~ 19時02分	
あいさつ	19時03分 ~ 19時10分	議長、連合区長会長
議会報告・質疑	議会報告 19時12分 ~ 19時32分	
	質疑 時 分 ~	質疑なし
意見交換	テーマ 『学校における諸問題や市民による 政策提案について』 + 自由テーマ 19時35分 ~ 20時18分	3班に分れる
まとめ	20時19分 ~ 20時30分	A班 20:19~20:22 B班 20:22~20:25 C班 20:26~20:30
閉会のことば(終了)	20時30分	

第1回瑞浪市議会報告会 意見交換記録票

課題が残る応答/テーマ外の発言内容

A班

- 北中学校の開校から半年が経過し、日吉や釜戸の生徒がスクールバスを利用する都合上、全体の部活動が制限される事態が起きている。何かしらの工夫が今後必要ではないか。
- 釜戸では長時間バスに乗る生徒がいること等から様々な意見が出ている。電車通学を認めてほしいという声もある。土岐町では自転車通学とのことだが、単純に地区で分けてしまうのはどうなのか。
- コミュニティスクールや地域学校協働活動の動きを推進するべく、スポーツや文化等の面で高齢者等が学校に入っていき仕掛けを作る必要性を感じる。子供達が地域から出ていけない教育体制を市民が考えられるようにしてほしい。
- 北中は全国に名だたる学校施設であり、今までの学校生活とは異なるものである。教育の内容と学校生活を対外的に発信し、市外の方に知ってもらうことで、瑞浪に移り住む動機づけになり得ると思う。しっかりとした情報発信を行ってほしい。
- 土岐小学校で一人の先生がクラスの子の面倒を見きれない現状があり、地域学校協働活動等により先生以外の人間が生徒の学習をサポートする必要性を感じている。学校では校長、教頭がフルに生徒対応にあたっている。地域の方に学校に来て頂いて、生徒対応の一部を担ってもらうことで、先生本来の仕事ができる環境を整えられるのでは。子どもにとっても良い刺激になると思う。同様に保育士が足りないという問題もある。
- クラブは親の協力・見守りがあって成立しているのが現状であり、南中では陶町の方の熱意に支えられて活動できている。今年度から夏休み中のクラブの子へのバス送迎の利用者が少ないために打ち切られることとなった。親の協力の得られない子は部活やクラブが出来ない現状である。北中の夏休み中の部活は10日間ほどで、送迎のバスは完全に時間指定されており、その時間外の活動はできない。最初は親の要望で始まったが、使いづらくて利用率が下がった、またバスの定員が多すぎるということも原因としてあったと思う。地域学校協働活動で子どもを見るという制度導入については議会でも取り上げたことがある。
- みどり幼稚園の保育士不足を感じる。また保育士不足により希望する園に行けないという親子もいる。そうした状況を無くすように考えていただきたい。また、幼児期の過ごし方が、小学校就学後の教育にも大きく影響を与えると思う。幼稚園と小学校とで一貫した教育方針がとられるよう、幼稚園と小学校の連携を強めて、楽しく、不登校の子が出ないような教育の在り方を考えてほしい。

B班

- 瑞浪駅前子どもが買い物をする商店がない。
もっと賑やかな街づくりを求める。
- 地域住民も学校や教育問題に参画する社会に。
(コミュニティ・スクールの政策課題)
- 通学する分団の子どもの人数が少ないほど見守る活動が大切である。
- 万尺川を蛍がみえる環境に！
- 小・中学校とも学区制の検討を！
- 瑞浪の教育課題で人材育成の底上げが必要。
- 安全な自転車通学を！

C班

- 企業誘致、雇用に関する質問……アイシンAW
- 瑞浪市の魅力づくり、駅前開発の質問

「課題が残る応答」は、回答できなかった質問、誤った応答等、何らかの対応が必要な応答を記録する。